

## 第 2 回 嬉野市未来技術地域実装協議会

### 議事録

#### 1. 開催概要

日時：令和 5 年 11 月 30 日（金） 13:30～15:00

場所：嬉野市化センター 2 階会議室



会議の様子

#### 2. 議事

(1) PT 1：嬉野の魅力为全国・全世界に発信する  
環境づくり事業について

(2) PT 2：来訪者の移動を支えるモビリティサービス  
事業について

#### 3. 意見・質疑

(1) PT 2 について

##### 国土交通省九州地方整備局

- ・ P16 車両挙動から見た安全性・快適性については、外的要因が路上駐停車という説明だけではわかりにくい。路上駐停車があれば避けて走行されていたと思う。路上駐停車がある上に対向車が来たとか、複合的な要因があったのではないかと。オペレーターが自動では無理だと判断して手動に切り替えたと思うけど、もう少し詳しく分析をしないと将来的な解決の糸口が見えづらい。もう少し細かく分析する必要があると思う。

##### 事務局（協力企業）

- ・ 複合的な要素があったことは確かだが、現時点でまだデータの整理ができていない。今後、整理していく。

##### まちづくり嬉野

- ・ 乗り心地は良かったが、駐停車車両もあって、観光客目線だと少し緩慢に感じた。ヨーロッパのトラム的な感じで周回にすることも検討してみたらどうか。嬉野の場合、旅館や商店街など周回するポイントは 10～20 箇所以内に絞られる。ポイントを回るルートをゆっくり走らせることは、観光客に対するプロモーションになる。
- ・ 旅館ごとに停車することは、苦痛には感じないと思う。嬉野温泉駅から一直線に行くだけならタクシーが良い。川沿いや町中、旅館を通りながら停車することはエンターテインメントになるし、走行中に車内画面・モニターに広告を流すことができれば斬新で良いと思った。
- ・ さらに言うと、自動運転車両を 2～3 台で運行することができれば、ラストワンマイル的に山間部のルートを含めて走行させるのも良いと思った。アプリで自動運転車両が走行している位置情報がわかれば、待ち時間があってもストレスにはならない。レベル 4 ではなくても、ゴルフカート的に運行すればよいのではないかと。
- ・ ラストワンマイル、観光 PR、福祉的なものと一体化、複合モデルとして運行するのはどうか。「ルートの工夫」と「観光」と「福祉」の 3 点セットで工夫できれば、嬉野モデルとして成立するのではないかと。

### 事務局（協力企業）

- ・ 自動運転車両で走りづらい区間もある。自動運転車両だけではなく、組み合わせによる周遊ルートの検討も必要かもしれない。

### 国土交通省九州地方整備局

- ・ 低速運行の楽しさを感じられるやり方も良いのではないかと。観光地ならではの交通サービスを考えると良い。移動目的だけではなく、アトラクションの1つとして付加価値を付けていくことで利用者を増やす。旅館の敷地内に停留所を設けるなど、旅館を巡ることができるルートも良い。

### 事務局（協力企業）

- ・ 検討を進めていきたい。

### 嬉野温泉協会

- ・ 速度的にはゆっくりで、嬉野の町並みを楽しめるという意味では観光客には受けると思う。
- ・ 宿泊客に対する旅館の送迎車両は駅から旅館まですぐに着いてしまう。川沿いを走るルートなどはおもてなしに繋がると思う。

### 議長（嬉野市長）

- ・ 走行性を含め良かった。ルートに関しては、町の現実ではあるものの、商店街入口周辺の店舗は必ずしも町として見せたい姿ではない。ルート設定の面では旅館の中を通すことも考えていければと思う。桜がきれいな場所、見せたいところを通ると良い。
- ・ また、ライドシェアへの関心も高まっている。若手首長会では、ライドシェアの実現に向けた協議が活発化している。慎重な検討が必要な立ち位置ではあるものの、運転手の高齢化・人手不足の解決策を出すということで勉強会に参加しており、有益な情報もある。別府市では23時以降の夜間バスを運行していると聞いた。先進事例も参考にしながら、実装に向けて、どの時間帯にどの場所を走らせるかを具体的にしていく時期にきている。本市も先進地として取り組んでいく必要がある。

### 国土交通省九州地方整備局

- ・ 地域との意見交換会については、個別ヒアリング形式で開催するのか、業種ごとにまとめて開催するのか、どのような開催イメージでやるのか教えて欲しい。

### 事務局（協力企業）

- ・ 商店街や旅館組合との意見交換は、各会の会合、集まる機会に合わせて実施する。交通事業者については、個々に訪問する予定。

### 議長（嬉野市長）

- ・ 協議ありがとうございました。
- ・ 「来訪者の移動を支えるモビリティサービス事業（PT2）」の実装に向けた方向性（案）、次年度計画（案）について、承認確認を行う。事業を承認する方は、挙手をお願いします。

### 各委員

- ・ （全員挙手）

### 議長（嬉野市長）

- ・ 委員全員挙手のため、全会一致とし、実装に向けた方向性（案）、次年度計画（案）については承認されました。

## （2）PT1 について

### まちづくり嬉野

- ・ PT1 事業で得られたデータには興味がある、面白かった。市内 2～3 割と市外 7～8 割というデータは重要だと思っている。
- ・ 花火大会と夜市について、大阪や東京にいても嬉野出身者にとっては、特別な日として心理的に思い出などが焼き付いているため、YouTube など、気になって見ている。域外へ就職、進学した嬉野出身者は、何かしら地元を応援したいと思っている。商工会や青年部でも、九州各地で花火大会がなくなってきているという話をしている。
- ・ 商店街から協賛金を集めるビジネスモデルからシフトしていくしかない。市外に出た人にとっては興味がある。花火大会にちょっとだけ「参加したい」「見たい」など来る動機としては強い。
- ・ 嬉野に関連するもので、個人の協賛、クラウドファンディングなどを行い、バーチャルモールなどのコミュニティに参加することで誰かしら顔見知りになれる可能性がある。その他同級生がデジタルモール内で画像・動画配信をすることで、デジタルで参加・交流できると、変わるのではないか。
- ・ これまでの協賛金の形を変えて、花火大会を存続させていきたい。「花火大会を応援している自分がかっこいい」みたいな感じがある。嬉野を離れ、域外で暮らしている方は、案外、罪悪感を持っているし、花火大会に対してはみんな何かしら思い出を持っている。花火大会が解体してしまう危機を感じているので、デジタル技術の活用と絡めて存続させていければと思う。

### 事務局（協力企業）

- ・ ECサイトの運営、投げ銭、寄付のしやすさなど、お金を集める仕組みを構造的に作らないといけないと思っている。

### 嬉野温泉旅館組合

- ・ P.24 記載のバーチャル嬉野を台湾でのプロモーション時に持って行った。VR ゴーグルでのバーチャル体験は参加者に喜んでもらい、良い PR になった。アンケートは 300 票近く集まった。
- ・ バスクリンからの補助を利用して 360 度動画の作成を行った。P.39 の LINE 公式アカウントによる情報発信が遅れがちだったが、もう少し利用させてもらえればよかったと思った。今後、調査結果、データはどのようになるのか。

## 事務局（協力企業）

- ・ 結果のデータについては、関係者、組合の方に限定し見ていただけるようなサイトを公開する予定。

## 議長（嬉野市長）

- ・ 360 度動画については、外国語対応も考えていきたい。お茶の産地つながりということもあって台湾とは関連がある。言語対応を考えていかなければいけない。店舗紹介だけでなく、店主の顔が見えるようにという話も、安心感を与えるという意味でも重要。日本は店の中に入るまでわからない店が多い。メニューも含めて何が食べられるのかを見せる工夫も必要。酒蔵の中の仕込み風景や焼き物工房の中、新茶の時期の製茶工場などのライブ感を出すのもコンテンツに加えられたらと思う。ライブビューイングについては、投げ銭などの仕組みを作るためには今後クレジットカードや決済の機能検討も必要になってくると思う。

## 議長（嬉野市長）

- ・ 協議ありがとうございました。
- ・ 「嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり事業（PT1）」の実装に向けた方向性（案）、次年度計画（案）について、承認確認を行う。事業を承認する方は、挙手をお願いします。

## 各委員

- ・ （全員挙手）

## 議長（嬉野市長）

- ・ 委員全員挙手のため、全会一致とし、実装に向けた方向性（案）、次年度計画（案）については承認されました。
- ・ 議事が終了したので、事務局に司会進行を返します。

## 事務局

- ・ 貴重な意見、ありがとうございました。次第 4 .その他について、全体を通して意見があればお願いします。

## 各委員

- ・ （特になし）

## 事務局

- ・ ありがとうございました。他になければ閉会する。
- ・ 令和 5 年度第 2 回未来技術地域実装協議会を終了する。

以上